

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>1. 次の計算をせよ。</p> <p>(1) <math>\frac{x^2+4x+5}{x+3}-\frac{x^2+5x+6}{x+4}</math></p> <p>(2) <math>\frac{3a^2+8a+4}{a^2-1}\div\frac{6a^2+a-2}{a^2+a}\times\frac{2a-1}{a+2}</math></p> <p>(3) <math>\frac{1}{1-\frac{1}{1-\frac{1}{1+a}}}</math></p> | <p>2. <math>a^3-2ab^2+4b^3</math> を <math>a+2b</math> で割った商と余りを求めよ。</p> <p>3. 等式 <math>a(x-1)(x-2)+b(x-2)(x-3)+c(x-3)(x-1)=6</math> が <math>x</math> についての恒等式となるように、定数 <math>a, b, c</math> の値を定めよ。</p> | <p>4. <math>\frac{y+z}{x}=\frac{z+x}{y}=\frac{x+y}{z}</math> のとき、この式の値を求めよ。</p> <p>5. <math>\frac{a}{b}=\frac{c}{d}</math> のとき、等式 <math>\frac{a+b}{a-b}=\frac{c+d}{c-d}</math> が成り立つことを証明せよ。</p> |
|--|---|--|

6. 次の不等式を証明せよ。  $(a^2+b^2)(x^2+y^2)\geq(ax+by)^2$

7. 次の不等式が成り立つことを証明せよ。  $a>b>0$  のとき  $\sqrt{a-b}>\sqrt{a}-\sqrt{b}$

8. 次の不等式を証明せよ。  $|a+b|\leq|a|+|b|$

9.  $x>0$  のとき、不等式  $\left(x+\frac{1}{x}\right)\left(x+\frac{4}{x}\right)\geq 9$  が成り立つことを証明せよ。また、等号が成り立つのは、どのようなときか。

10.  $2x+y-3z=3, 3x+2y-z=2$  を満たすすべての実数  $x, y, z$  に対して、 $px^2+qy^2+rz^2=12$  が成立するような定数  $p, q, r$  の値を求めよ。

1. 次の計算をせよ。

(1)  $\frac{x^2+4x+5}{x+3}-\frac{x^2+5x+6}{x+4}$

(2)  $\frac{3a^2+8a+4}{a^2-1}\div\frac{6a^2+a-2}{a^2+a}\times\frac{2a-1}{a+2}$

(3)  $\frac{1}{1-\frac{1}{1-\frac{1}{1+a}}}$

解答 (1)  $\frac{2}{(x+3)(x+4)}$  (2)  $\frac{a}{a-1}$  (3)  $-a$

解説

(1)  $\frac{x^2+4x+5}{x+3}-\frac{x^2+5x+6}{x+4}$ 
$$=\frac{(x+3)(x+1)+2}{x+3}-\frac{(x+4)(x+1)+2}{x+4}$$
$$=\left(x+1+\frac{2}{x+3}\right)-\left(x+1+\frac{2}{x+4}\right)$$
$$=\frac{2}{x+3}-\frac{2}{x+4}=\frac{2\{(x+4)-(x+3)\}}{(x+3)(x+4)}$$
$$=\frac{2}{(x+3)(x+4)}$$

(2)  $\frac{3a^2+8a+4}{a^2-1}\div\frac{6a^2+a-2}{a^2+a}\times\frac{2a-1}{a+2}=\frac{3a^2+8a+4}{a^2-1}\times\frac{a^2+a}{6a^2+a-2}\times\frac{2a-1}{a+2}$ 
$$=\frac{(a+2)(3a+2)}{(a+1)(a-1)}\times\frac{a(a+1)}{(2a-1)(3a+2)}\times\frac{2a-1}{a+2}=\frac{a}{a-1}$$

(3) (与式)  $=\frac{1}{1-\frac{1+a}{(1+a)-1}}=\frac{1}{1-\frac{1+a}{a}}=\frac{a}{a-(1+a)}=\frac{a}{-1}=-a$

2.  $a^3-2ab^2+4b^3$  を  $a+2b$  で割った商と余りを求めよ。

解答 商  $a^2-2ab+2b^2$ , 余り 0

解説

$$\begin{array}{r} a^2-2ba+2b^2 \\ a+2b \overline{) a^3-2ba^2+4b^3} \\ \underline{a^3+2ba^2} \phantom{+4b^3} \\ -2ba^2-2b^2a \phantom{+4b^3} \\ \underline{-2ba^2-4b^2a} \phantom{+4b^3} \\ 2b^2a+4b^3 \\ \underline{2b^2a+4b^3} \\ 0 \end{array}$$

商  $a^2-2ab+2b^2$   
余り 0

3. 等式  $a(x-1)(x-2)+b(x-2)(x-3)+c(x-3)(x-1)=6$  が  $x$  についての恒等式となるように, 定数  $a, b, c$  の値を定めよ。

解答  $a=3, b=3, c=-6$

解説

与式が  $x$  についての恒等式であるならば,  $x$  にどのような値を代入しても等式が成り立つから  $x=1$  を代入して  $2b=6$   
 $x=2$  を代入して  $-c=6$   
 $x=3$  を代入して  $2a=6$   
よって  $a=3, b=3, c=-6$   
逆に, このとき与式の左辺は  $3(x-1)(x-2)+3(x-2)(x-3)-6(x-3)(x-1)$ 
$$=3(x^2-3x+2)+3(x^2-5x+6)-6(x^2-4x+3)=6$$
となり, 右辺と一致するから, 与式は恒等式となる。  
ゆえに  $a=3, b=3, c=-6$   
別解 (「逆に」以下を, 次のように述べてもよい。)  
このとき, 等式の両辺は2次以下の多項式であり, 異なる3個の  $x$  の値に対して等式が成り立つ。  
よって, この等式は恒等式である。  
ゆえに  $a=3, b=3, c=-6$

4.  $\frac{y+z}{x}=\frac{z+x}{y}=\frac{x+y}{z}$  のとき, この式の値を求めよ。

解答  $x+y+z\neq 0$  のとき  $2, x+y+z=0$  のとき  $-1$

解説

$\frac{y+z}{x}=\frac{z+x}{y}=\frac{x+y}{z}=k$  とおくと  
 $y+z=xk, z+x=yk, x+y=zk$  …… ①  
辺々を加えると  $2(x+y+z)=(x+y+z)k$   
[1]  $x+y+z\neq 0$  のとき  $k=2$   
このとき, ①は  $y+z=2x, z+x=2y, x+y=2z$   
これらを解いて  $x=y=z$   
よって,  $xyz\neq 0$  とすることができる。  
[2]  $x+y+z=0$  のとき  $y+z=-x$   
よって  $k=\frac{y+z}{x}=\frac{-x}{x}=-1$   
[1], [2] から  $x+y+z\neq 0$  のとき  $2, x+y+z=0$  のとき  $-1$

5.  $\frac{a}{b}=\frac{c}{d}$  のとき, 等式  $\frac{a+b}{a-b}=\frac{c+d}{c-d}$  が成り立つことを証明せよ。

解答 略

解説

$\frac{a}{b}=\frac{c}{d}=k$  とおくと  $a=bk, c=dk$   
よって  $\frac{a+b}{a-b}=\frac{bk+b}{bk-b}=\frac{b(k+1)}{b(k-1)}=\frac{k+1}{k-1}$ 
$$\frac{c+d}{c-d}=\frac{dk+d}{dk-d}=\frac{d(k+1)}{d(k-1)}=\frac{k+1}{k-1}$$
ゆえに  $\frac{a+b}{a-b}=\frac{c+d}{c-d}$   
別解 条件式  $\frac{a}{b}=\frac{c}{d}$  より,  $c=\frac{ad}{b}$  であるから  
(右辺)  $=\frac{\frac{ad}{b}+d}{\frac{ad}{b}-d}=\frac{ad+bd}{ad-bd}=\frac{a+b}{a-b}$ =(左辺)

6. 次の不等式を証明せよ。  $(a^2+b^2)(x^2+y^2) \geq (ax+by)^2$

**【解答】** 証明略 等号は  $ay=bx$  のとき成り立つ

**【解説】**

$$(a^2+b^2)(x^2+y^2)-(ax+by)^2=(a^2x^2+a^2y^2+b^2x^2+b^2y^2)-(a^2x^2+2abxy+b^2y^2) \\ =a^2y^2-2abxy+b^2x^2=(ay-bx)^2 \geq 0$$

よって  $(a^2+b^2)(x^2+y^2) \geq (ax+by)^2$   
等号が成り立つのは、 $ay-bx=0$  すなわち  $ay=bx$  のときである。

7. 次の不等式が成り立つことを証明せよ。  $a>b>0$  のとき  $\sqrt{a-b}>\sqrt{a}-\sqrt{b}$

**【解答】** 略

**【解説】**

$$(\text{左辺})^2-(\text{右辺})^2=(\sqrt{a-b})^2-(\sqrt{a}-\sqrt{b})^2 \\ =(a-b)-(a-2\sqrt{ab}+b) \\ =2\sqrt{ab}-2b=2\sqrt{b}(\sqrt{a}-\sqrt{b})$$

$a>b>0$  より、 $2\sqrt{b}(\sqrt{a}-\sqrt{b})>0$  であるから  $(\sqrt{a-b})^2>(\sqrt{a}-\sqrt{b})^2$   
 $\sqrt{a-b}>0$ 、 $\sqrt{a}-\sqrt{b}>0$  であるから  $\sqrt{a-b}>\sqrt{a}-\sqrt{b}$

8. 次の不等式を証明せよ。  $|a+b| \leq |a|+|b|$

**【解答】** 略

**【解説】**

$$(|a|+|b|)^2-|a+b|^2=(|a|^2+2|a||b|+|b|^2)-(a+b)^2 \\ =a^2+2|ab|+b^2-(a^2+2ab+b^2) \\ =2(|ab|-ab) \geq 0 \quad (\because |ab| \geq ab \text{ より})$$

よって  $|a+b|^2 \leq (|a|+|b|)^2$   
 $|a+b| \geq 0$ 、 $|a|+|b| \geq 0$  であるから  $|a+b| \leq |a|+|b|$   
等号は  $|ab|=ab$  つまり、 $ab \geq 0$  のときに成り立つ。

9.  $x>0$  のとき、不等式  $\left(x+\frac{1}{x}\right)\left(x+\frac{4}{x}\right) \geq 9$  が成り立つことを証明せよ。また、等号が成り立つのは、どのようなときか。

**【解答】** 証明略 等号は  $x=\sqrt{2}$  のとき成り立つ

**【解説】**

左辺を展開して  $\left(x+\frac{1}{x}\right)\left(x+\frac{4}{x}\right)=x^2+x \cdot \frac{4}{x}+\frac{1}{x} \cdot x+\frac{1}{x} \cdot \frac{4}{x}=x^2+\frac{4}{x^2}+5$

$x^2>0$ 、 $\frac{4}{x^2}>0$  であるから、(相加平均)  $\geq$  (相乗平均) により

$$x^2+\frac{4}{x^2} \geq 2\sqrt{x^2 \cdot \frac{4}{x^2}}=2 \cdot \sqrt{4}=4$$

よって  $\left(x+\frac{1}{x}\right)\left(x+\frac{4}{x}\right)=x^2+\frac{4}{x^2}+5 \geq 4+5=9$

等号が成り立つのは  $x^2=\frac{4}{x^2}$  すなわち  $(x^2)^2=4$  のとき

$x^2>0$  から  $x^2=2$  更に、 $x>0$  から  $x=\sqrt{2}$

ゆえに、等号が成り立つのは  $x=\sqrt{2}$  のときである。

**【注意】**

「 $x>0$  であるので、 $x+\frac{1}{x} \geq 2\sqrt{x \cdot \frac{1}{x}}=2$ 、 $x+\frac{4}{x} \geq 2\sqrt{x \cdot \frac{4}{x}}=4$

よって  $\left(x+\frac{1}{x}\right)\left(x+\frac{4}{x}\right) \geq 2 \cdot 4=8 \cdots \cdots (\ast)$ 」

という証明は**絶対にやってはいけない**。それは、(※)式において等号が成り立つような  $x$  は存在しないからである。なぜならば、 $x+\frac{1}{x}=2$  となる  $x$  は  $x=1$  のときで、 $x+\frac{4}{x}=4$  となる  $x$  は  $x=2$  のときであるからである。

10.  $2x+y-3z=3$ 、 $3x+2y-z=2$  を満たすすべての実数  $x$ 、 $y$ 、 $z$  に対して、 $px^2+qy^2+rz^2=12$  が成立するような定数  $p$ 、 $q$ 、 $r$  の値を求めよ。

**【解答】**  $p=7$ 、 $q=-4$ 、 $r=21$

**【解説】**

$2x+y-3z=3 \cdots \cdots \textcircled{1}$ 、 $3x+2y-z=2 \cdots \cdots \textcircled{2}$  とする。

$\textcircled{1} \times 2 - \textcircled{2}$  から  $x-5z=4$  ゆえに  $x=5z+4$

$\textcircled{2} \times 2 - \textcircled{1} \times 3$  から  $y+7z=-5$  ゆえに  $y=-7z-5$

これらを  $px^2+qy^2+rz^2=12$  に代入すると

$$p(5z+4)^2+q(-7z-5)^2+rz^2=12$$

よって  $p(25z^2+40z+16)+q(49z^2+70z+25)+rz^2=12$

左辺を  $z$  について整理すると

$$(25p+49q+r)z^2+10(4p+7q)z+(16p+25q)=12$$

この等式が  $z$  についての恒等式となるのは、両辺の同じ次数の項の係数が等しいときであるから

$$25p+49q+r=0 \cdots \cdots \textcircled{3}, \quad 4p+7q=0 \cdots \cdots \textcircled{4}, \quad 16p+25q=12 \cdots \cdots \textcircled{5}$$

$\textcircled{4} \times 4 - \textcircled{5}$  から  $3q=-12$  ゆえに  $q=-4$

よって、 $\textcircled{4}$  から  $p=7$

更に、 $\textcircled{3}$  から  $175-196+r=0$  ゆえに  $r=21$